

## ○湊川流路の変遷 <兵庫県 HP より>

現在、新湊川と呼ばれる川は、過去に何度かその流れを変えています。古い順に古湊川、旧湊川、そして現在の新湊川です。

湊川は昔、石井川と天王谷川の合流点付近から現在の湊川公園を経て、新開地方面へ流れていましたが、天井川で堤防が高く、神戸と兵庫が2つに分かれ交通の便が悪くなったこと、神戸港が土砂に埋まってしまうこと、さらに洪水被害がたびたび発生することなどの理由で、現在の新湊川に付け替えられました。

### 平安時代の流路

古湊川の流路は明確ではありませんが、平清盛（11世紀）や池田信輝（16世紀）が古湊川から旧湊川へ付け替えたとする伝説があります。



地図：出典「ながたの歴史」昭和52年3月 長田区役所広報相談課

### 明治18年頃の流路

慶応3年に神戸が開港場となり神戸外国人居留地が建設されて以降、神戸地域が次第に発展するにしたがい、旧湊川の流出土砂による神戸港埋没問題が指摘されるようになり、度重なる旧湊川の氾濫と、天井川の旧湊川が東西交通の障害となっていたことから付け替え議論が相次ぎました。



国土地理院発行の地図（2万分の1：明治21年4月）を用いて作成

## 明治 43 年頃の流路

明治 34 年、湊川改修株式会社により旧湊川は石井川と天王谷川の合流点下流の菊水橋付近から付け替えられ、会下山をくり抜いた湊川隧道を流れ、刈藻川に合流する新湊川が誕生しました。一方、旧湊川の河川堤防は削られて、湊川新開地と呼ばれる、後に映画館や芝居小屋が集中する繁華街として発展しました。



国土地理院発行の地図（2万分の1：大正2年2月）を用いて作成

## 現在の流路

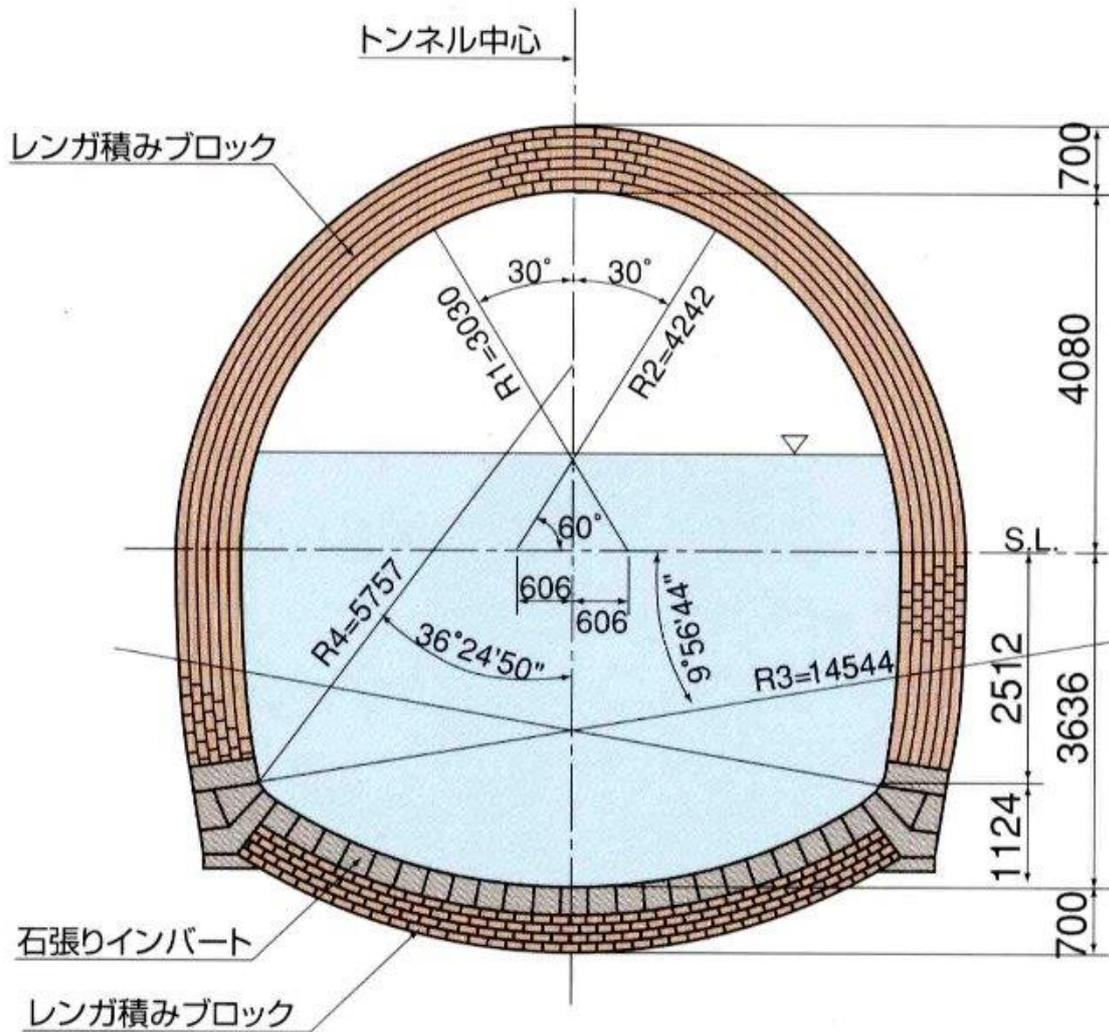


国土地理院発行の地図（2万5千分の1：平成12年1月）を用いて作成

## ○湊川隧道

湊川隧道は、神戸市兵庫区に位置する標高 85m の会下山をくり抜く、わが国最初の近代河川トンネルとして 1901（明治 34）年 8 月に竣工しました。

その後、新湊川改修事業により 2000（平成 12）年に新湊川トンネルが完成したことに伴い、湊川隧道（会下山トンネル）は河川トンネルとしての役目を終えました。しかし、構築後 100 年になる湊川隧道は当時の高度な土木技術で造られた貴重な土木遺産として、今でも残っています。



明治 34 年 8 月通水（昭和 3 年 3 月増築）

アーチ部：レンガ積み 側壁部：レンガ積み インバート部：切石積み（増築部は鉄筋コンクリート造り）

延長：604m（増築後 670m） 内空幅：7.3m 内空高：7.6m 内空断面積：45 m<sup>2</sup>

### 湊川隧道のあゆみ

明治 10 年（1877 年）横浜と神戸の港改修に伴い、湊川の付換えが世論にのぼりはじめる

17 年 初の付換の申請

29 年 8 月、神戸地区に大水害がおこる

12 月、湊川付換の許可

30 年 湊川隧道起工

34 年 湊川隧道竣工

昭和 2 年 神戸電鉄建設に伴う湊川隧道の延伸

12 年 阪神地区大水害

20 年 神戸の大空襲

平成 7 年 兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）

12 年 12 月、新湊川トンネル通水

## ○湊川隧道構築の背景

湊川隧道の構築は、上水道事業（奥平野浄水場他）、港湾事業（兵庫運河開削）と並ぶ神戸市三大事業の一つとされています。この事業の特徴として、大きくは次の点をあげることができます。

### 治水対策

湊川改修前のこの地区では、慶応2年（1866）、明治7年（1874）、明治29年（1896）と、幾度も洪水が発生しており、治水対策は、当時の都市政策の大きな課題でした。特に改修工事のきっかけとなった明治29年8月の大水害では、湊川の堤防が100メートルにわたり決壊するなど甚大な惨事となり、この災害対策は「神戸市目下の急務」と当時の新聞に報じられています。

### 都市政策

湊川では、花崗岩の風化によって生じた土砂が六甲山から大量に流出し、放置しておけば神戸港の機能を低下することになると指摘されていました。

また、天井川である湊川は、高さ6メートル以上にも達する長い堤防が築かれていて、これが交通、経済活動等の面において、神戸と兵庫を分断する障害となっていました。このようにこの事業は、神戸港への土砂流出防止対策や、湊川堤防・河川敷地の平坦化（付替え後の河川敷地は後に"新開地"として発展する。）という目的を有しています。

### 民間事業

この工事は、神戸市の発展策として必要なこととして認識され、資産運用の面からそれに関わろうとした有力者が多く現れました。地主や商人、実業家などが加わり、実際の事業運営にあたっては「湊川改修株式会社」が結成され、民間事業として行われました。

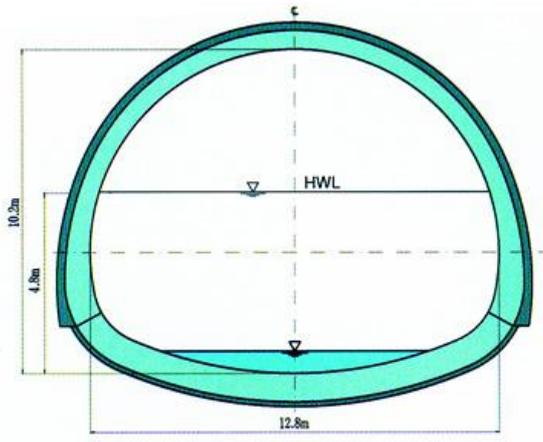
なお、その後、明治29年（1896年）の河川法の成立により、明治政府は大河川の治水事業を積極的に進め、以後、河川改修には為政者の意志が強く働くことになりました。このため、こうした事業が当時民間事業として行われたことは非常に稀なケースと言えます。

### 参考 HP

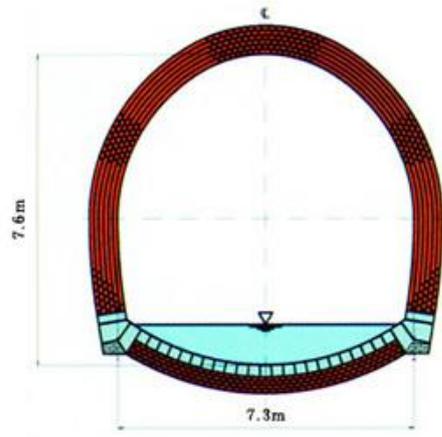
[兵庫県／湊川流路の変遷 \(hyogo.lg.jp\)](http://hyogo.lg.jp)

[湊川隧道とは | 湊川隧道公式 WEB サイト 悠久の時を経て、現代に残る神戸の近代化産業遺産 \(minatogawa-zuido.com\)](http://minatogawa-zuido.com)





新湊川トンネル



湊川隧道（会下山トンネル）